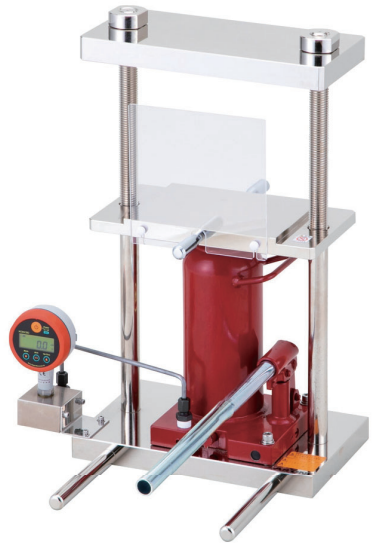
AS ONE

取扱説明書
Instruction Manual

ハイプレッシャージャッキ

型番（品番）

Ｊ－１５Ｋ(1-313-02)



最初にお読みください
＜安全上のご注意＞ ・・・・・・・・・ 2
＜設置組立時のお願い＞ ・・・・・・・ 4
＜使用上のお願い＞ ・・・・・・・・・ 4
ご使用の前に
＜各部の名称とはたらき＞ ・・・・・ 5
＜別売品＞ ・・・・・・・・・・・・・ 6
設置
＜設置＞ ・・・・・・・・・・・・・・ 7
使いかた
＜使用方法＞ ・・・・・・・・・・・・ 8
お手入れと修理点検
＜装置の点検＞ ・・・・・・・・・・ 10
＜お手入れ＞ ・・・・・・・・・・・・ 10
＜修理＞ ・・・・・・・・・・・・・・ 11
＜油圧オイルの補充方法＞ ・・・・ 12
困ったとき
＜トラブルの原因と対処＞ ・・・・ 14
製品仕様と保証について
＜製品仕様＞ ・・・・・・・・・・・・ 15
＜廃棄方法＞ ・・・・・・・・・・・・ 15
＜製品保証＞ ・・・・・・・・・・・・ 16

このたびは、アズワン製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

製品のご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。お読みになったあとは、お手元においてご使用ください。

製品の譲渡・貸与時は、この取扱説明書を本体の目立つところに添付して、製品と共にお引き渡しください。

本製品は研究者・事業者向け商品です。家庭用・一般用商品ではありません。

最初にお読みください

＜安全上のご注意＞

製品のご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、製品を安全に正しくお使いください。誤った使い方に起因する危害や損害を防止するための重要な事項について記載しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように分けて説明しています。

⚠警告	死亡や重傷を負うおそれがある内容です。
⚠注意	傷害を負ったり、物的損害が発生するおそれがある内容です。

●本書や本体に使われている図記号の意味は、次の通りです。

	「必ず行うこと」を示しています。※
	「してはいけないこと」を示しています。※
	「注意すること」を示しています。※

※　本書では、おもな使用場面ごとに分類しています。

	接触禁止を示しています。
	分解・改造禁止を示しています。
	指を挟まないよう注意を示しています。
	機器の転倒注意を示しています。
	爆発注意を示しています。
	火気禁止を示しています。
	機器の水濡れ禁止を示しています。
	発火注意を示しています。

⚠警告	製品を安全に正しくお使いいただくために 必ず、お守りください
操作運転	本製品を操作するときは、安全メガネや保護手袋など、適切な保護具を着用してください。
お手入れと点検	本製品はサンプルに高い圧力を加えて破壊試験等を行う装置です。安全にお使いいただくため、１０ページ記載の＜装置の点検＞をよくお読みのうえ、実施いただきますようお願いします。
操作運転	圧力を加えると破裂、爆発するおそれのあるものや危険物をプレスしないでください。 爆発・火災・人命に関わる重大事故の原因になります。
	本来の用途以外に使用しないでください。本製品は研究用途向けの商品です。
	本製品の改造や分解をしないでください。 ケガ・故障の原因になります。 ➡ 改造・分解が行われた場合は、保証の対象外となり、弊社は一切の責任を負いかねます。
操作運転	作業中はプレス面に手や指を挟まないようご注意ください。 特にハンドルを使って加圧するときは、細心の注意を払ってください。 ケガをするおそれがあります。

⚠注意	製品を安全に正しくお使いいただくために 必ず、お守りください
設置	重量物のため、製品の設置（開梱）や移設時にケガをしないようご注意ください。 ➡ 本体の重量　Ｊ－１５Ｋ　約５７ｋｇ
操作運転	専門知識を有する人の指示のもとに本製品をご使用ください。
操作運転	小さいお子様が触れたり、使用したりしないようにご注意ください。
	変形したものを加圧する場合は、圧力が均等に加わらないため、サンプルが飛散するおそれがあります。加圧するときは、十分ご注意ください。 ケガをしたり、装置の支柱が曲がるなど故障の原因になることがあります。

＜設置組立時のお願い＞

⚠お願い　製品の性能に影響をおよぼしたり、故障の原因になります
下記の項目を必ず、お守りいただきますようお願いします

実験室などの室内温度が５～３５℃の室内へ設置してください。

装置の転倒を防止するため必ず、水平で堅牢な場所に設置してください。また、設置の際は付属の支持棒を必ず装着してください。

ホコリが少なく、風通しの良い場所に設置してください。また、使用時は室内の換気を定期的に実施してください。

設置するときは、次のような場所をさけてください。

・結露するところ　・直射日光があたるところ　・水滴がかかるところ
・６０℃以上の高温物体（乾燥機等）の熱が直接あたるところ　・火気の近く
・衝撃や振動の多いところ　・腐食性ガスが発生するところ　・傾斜地
・湿気の多いところ　・屋外

＜使用上のお願い＞

⚠お願い　製品の性能に影響をおよぼしたり、故障の原因になります
下記の項目を必ず、お守りいただきますようお願いします

製品を他装置へ組み込まないでください。

➡ 他の製品へ組み込んだり、本製品へ別の製品を組み込んだりした場合、安全性や性能、セット機器破損等の保証はできません。

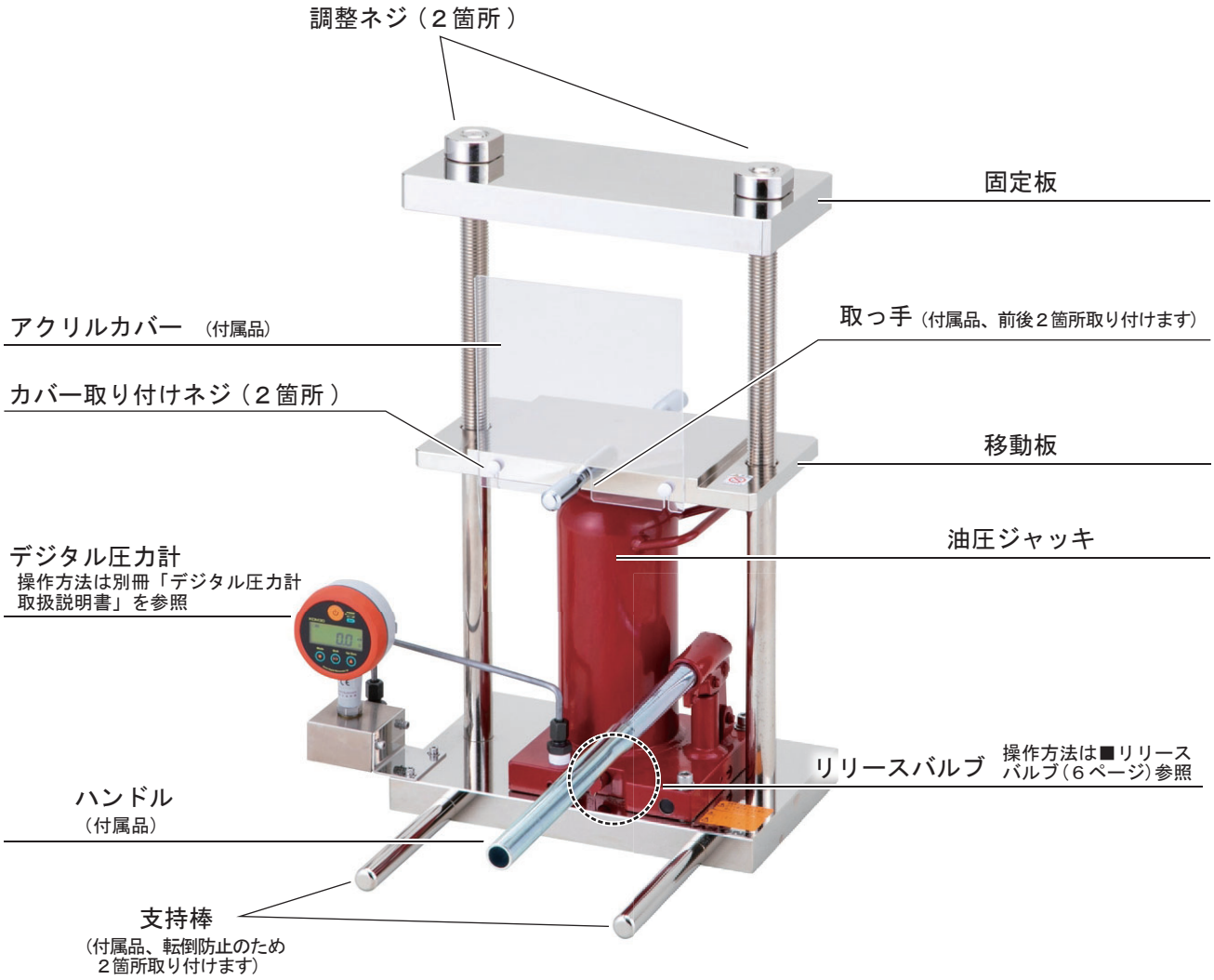
サンプルはプレス面の中央に置いて操作してください。偏荷重が加わると、支柱が曲がるおそれがあります。

ジャッキ内の油圧オイルは、ジャッキを作動するごとに消耗します。油圧オイルが少なくなると、正常に加圧できなくなります。このときは、油圧オイルを補充してください。

»» １２ページ＜油圧オイルの補充方法＞
６ページ＜別売品＞

ご使用の前に

＜各部の名称とはたらき＞



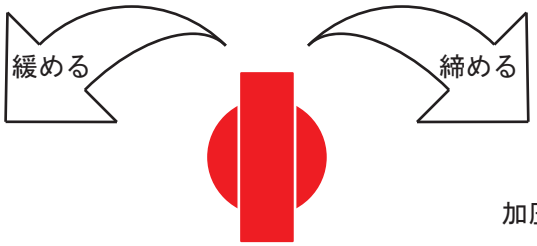
■リリースバルブ

加圧と除圧の切り替えはリリースバルブによって行います。バルブの操作は、ハンドル（付属品）の切り欠き加工されている部分をバルブに挿入して回します。

切り欠き加工されているハンドル



＜リリースバルブ＞



除圧時・・・

反時計回り（左回り）に１回転くらい回す
（２回転以上回さないでください）

加圧前・・・

時計回り（右回り）に止まるまで回す

除圧時は次の注意事項を必ずお守りください。

> ⚠ 加圧が終わり、試料を取り出すために除圧する際には「リリースバルブ」を左回りに回します。このとき左回りに２回転以上回すと、リリースバルブの根元あたりから「油圧オイル」が漏れ出すおそれがあります。

＜別売品＞

品　番　／　品　名（型　番）	仕　　様
3-6762-01 ／リリースハンドル（AJRH1）	材質：ニッケルメッキ鋼材、 リリースバルブ切り替え専用ハンドル
3-8689-01 ／ジャッキ用オイル（HPJOIL）	容量：250mL、主成分：潤滑油基油・潤滑油添加剤、 動粘度：32.6mm²/s（at40℃）

品番、仕様は変更する場合があります。

設置

＜設置＞

前述の「安全上のご注意」、「設置組立時のお願い」をよくお読みになり、それらの条件を満たすところに設置してください。

設置の際は、前述の＜各部の名称とはたらき＞と合わせてお読みください。

本製品を設置するときは作業に必要なスペースを十分確保してください。

> ⚠ 本製品を移動させる際は、移動板や取っ手部分を持たないでください。指を挟んだり、製品が落下するおそれがあります。

１．製品の開梱

製品保護のため木材を用いて梱包しています。開梱するときは次のものを準備してください。

・手指保護用手袋
・木材梱包を取り除くための工具（モンキーレンチ、くぎぬきなど）

製品を傷つけないように木枠、ビニール袋等を取り除いてください。

> ⚠ 重量物のため開梱時にケガをしないよう十分ご注意ください。
> ・足の上に落とす
> ・梱包材で手を切る
> ・木材の破片が刺さる

開梱した後の廃材は、法律や市町村の条例に定める方法に従って、廃棄してください。

２．付属品の確認

付属品が破損や変形なく、そろっていることを確認してください。

付属品名	入り数
三分割ハンドル	1 set
取っ手	２個
支持棒	２本
アクリルカバー（取り付けネジ２個は移動板に装着されています）	１枚
スパナ	１本

３．製品の据付

水平で堅牢な床や台の上に装置を設置して、付属の支持棒を所定の場所にねじ込んでください。

注意　水平に設置できない場合は、金属製の薄板などを用いて調節してください。

４．取っ手の取り付け

付属の取っ手を「移動板」前後２箇所のネジ穴にねじ込み、取り付けます。

５．ハンドルの取り付け

ハンドルは三分割されています。まず切り欠き加工されているハンドルで「リリースバルブ」が締まっていることを確認してください。緩んでいるときは、「リリースバルブ」を時計回り（右回り）に止まるまで回して、しっかり締めてください。

»» ６ページ「■リリースバルブ」

次に分割されたハンドルを一本の棒になるようつなぎ合わせ、プレス装置の所定箇所に差し込んでください。

使用しないときはプレス装置からハンドルを取り外してください。

使いかた

＜使用方法＞

本製品について（特記事項）

●本製品のジャッキは、油圧方式のため長時間の圧力保持ができません。実験条件によっては時間の経過により圧力が上昇、または低下することがあります。この場合は除圧と加圧を繰り返して、圧力が一定になるよう調整してください。

●２箇所の調整ネジは左右均等に回してください。片側の調整ネジを反対側のネジより「１回転以上」多く回さないでください。片側のネジのみを無理に回しすぎると、ネジ破損の原因になります。

操作手順

操作の際は、前述の「各部の名称とはたらき」と合わせてお読みください。

リリースバルブの操作については、下記項目を参照してください。

»» ６ページ「■リリースバルブ」

①天面の「調整ネジ」を付属のスパナで左右均等に回しながら、「固定板」の高さを調整します。サンプルに合わせて「固定板」の高さを決定してください。高さ調整後はプレス面（固定板と移動板）が平行になるよう調整してください。

次頁へ続く

前頁より

②加圧するサンプルをプレス面中央に載せます。成形実験等のため金型を使用する場合は、プレス面の中央部に金型をセットしてください。

⚠

・サンプルが上下プレス面で平行に加圧されるようにしてください。加圧される面が平らでないものは、加圧しないでください。金型を使用する場合は均等に圧力が掛かるようにセットしてください。

・サンプルは「移動板」の中央に置いて操作してください。

・加圧するときはサンプルの状態を確認しながら、細心の注意を払ってください。

③付属の「アクリルカバー」を「カバー取り付けネジ」でプレス装置に固定します。

ネジは、移動板に２箇所取り付けられています。ネジを緩めてから「アクリルカバー」を取り付け、ネジを締めて固定します。

④「リリースバルブ」を締め、「ハンドル」をプレス装置の所定箇所に差し込みます。

⑤「デジタル圧力計」のスイッチを「ＯＮ」にします。デジタル圧力計を見ながらハンドルをゆっくりと上下させて目的の圧力を掛けます。時間の経過により圧力が上昇、または低下することがあります。この場合は除圧と加圧を繰り返して、圧力が一定になるよう調整してください。

デジタル圧力計の操作方法は別冊「デジタル圧力計取扱説明書」を参照してください。

⑥加圧が終了してサンプルを取り出す場合は、「リリースバルブ」を緩め（除圧）、「移動板」を所定の位置まで下降させます。除圧のみでは「移動板」が下まで下降しないため、「取っ手」を利用して押し下げてください。

⑦「カバー取り付けネジ」を緩めて、「アクリルカバー」を取り外した後、サンプルを「移動板」から取り出し、「デジタル圧力計のスイッチ」を「ＯＦＦ」にします。

お手入れと修理点検

＜装置の点検＞

本製品は加圧のための動力がなく、労働安全衛生法で定められた「法定プレス機」の対象ではありません。このため点検などの実施義務は定められていませんが、本製品はサンプルに高い圧力を加えて破壊試験等を行う装置です。安全にお使いいただくため、下記の事項をお守りください。

リストを参考に装置などの点検を行っていただき、異常が発見されたときは使用を中止してください。

項　　目	内　　容
設置の状態確認	装置（プレス面上下）が水平に保持されていて、プレス面の間が平行であることを確認してください。
プレス面の点検・お手入れ	異常なキズ、凹み、汚れがないかを確認して、正常な状態を維持してください。
油圧ジャッキの点検	ハンドルを上下させてスムーズに加圧できること、および装置の最大加圧値まで加圧できることを確認してください。

⚠
・運転中に加圧ムラ、油圧ジャッキの偏重などが発生したときは、ただちに使用を中止して、販売店、または修理窓口へ連絡してください。
・保守点検のためであっても、製品の分解、改造をしないでください。

＜お手入れ＞

製品の性能を維持するため、定期的に清掃を行ってください。

⚠
有機溶剤、またはアルコール、洗剤は製品自体を劣化させるため使用しないでください。
金属ブラシ、クレンザー（磨き粉）など製品に傷をつけるものは使用しないでください。

●製品に付着した汚れは、柔らかい布などを水、お湯で湿らせて汚れを拭き取ってください。拭き取り後は、製品をよく乾燥させてください。

●汚れが落ちにくい部分は、布に少量の中性洗剤を含ませ取り除いてください。除去後は必ず、乾いた布で本体に付着した中性洗剤をきれいに拭き取ってください。

●外装や内部に直接水をかけたり、異物を入れたりしないよう注意してください。

＜修理＞

保証期間経過後の修理については、販売店、または修理窓口へ連絡してください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有償修理します。その他詳細は、保証書をご覧ください。

⚠ 修理作業者の健康を守るため、本製品や部品を修理依頼される際、下記①、②項に該当する場合は、必ず適切な除染を行っていただき、安全に作業できる状態で修理をご依頼いただきますようお願いします。

① 本製品や部品の一部が感染性のある危険な物質や放射性物質にさらされたとき

② 本製品や部品の一部へ血液その他化学薬品が何らかの形でたまり、人体に危険と判断されるとき

適切な除染処置がされない場合には、修理をお断りさせていただきますことをあらかじめご了承ください。

＜油圧オイルの補充方法＞

油圧オイルが少なくなると、正常に加圧できなくなります。このときは、下記の手順に従って油圧オイルを補充してください。
オイル補充の際、ジャッキ内の空気を抜く作業が必要です。
この空気抜きの作業は、知識と経験が必要であり、お客様側で対応が困難な場合は、販売店、または修理窓口へ依頼してください。

> ⚠ 油圧ジャッキから明らかにオイルが漏れている場合は、油圧ジャッキの故障が考えられます。このときは、オイルの補充はしないで販売店、または修理窓口へ依頼してください。

ご準備いただくもの

次のものを準備してください。

- 一般油圧作動油（ＩＳＯ ＶＧ１０～３２）
- 給油ボトル
- スパナ（付属品）

作業手順

注意
- 給油作業中は、装置を横に倒さないでください（通常の設置状態で作業を行ってください）。
- 給油時にゴミなどが混入しないよう注意してください。
- 指定の油以外（ブレーキオイルや植物性オイル等）は使用しないでください。
- ２箇所の調整ネジは左右均等に回してください。片側の調整ネジを反対側のネジより「１回転以上」多く回さないでください。片側のネジのみを無理に回しすぎると、ネジ破損の原因になります。

作業の際は、前述の「各部の名称とはたらき」と合わせてお読みください。
「ハンドル」はあらかじめ外しておいてください。

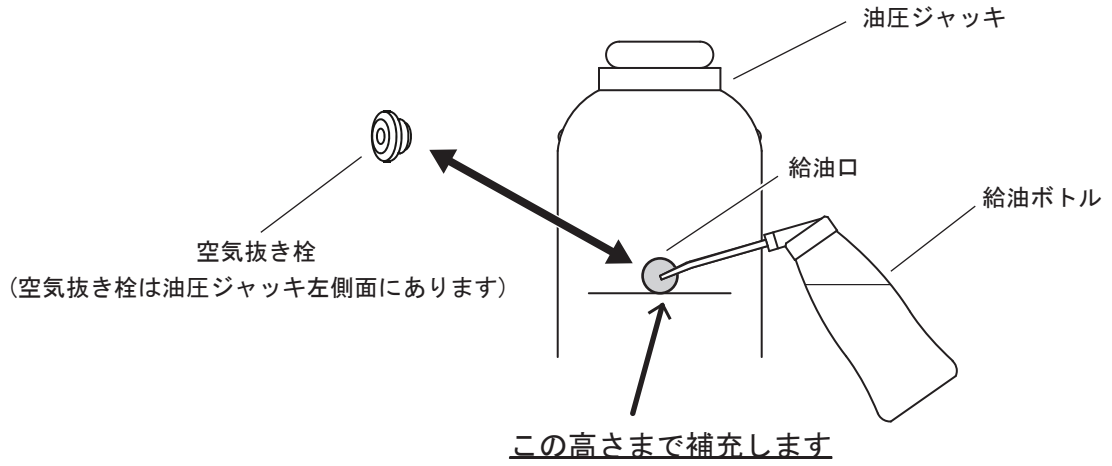
①スパナを用いて天面の「調整ネジ」を左右均等に回し、「固定板」を最高位置※にします。
※手順④で「移動板」を最高位置まで上げたときに「固定板」と接触しない高さであれば問題ありません。

②「リリースバルブ」を緩め、取っ手を持ち、「移動板」を最低位置まで押し下げます。その後、「リリースバルブ」をしっかり締めます。

次頁へ続く

前頁より

③「空気抜き栓」を指で外して、一般油圧作動油（ＩＳＯ ＶＧ１０～３２）を給油ボトルで給油口から補充します。



④「空気抜き栓」をもと通り取り付け、「ハンドル」を「ハンドルソケット」に差し込みます。「ハンドル」をゆっくり上下させて「移動板」を最高位置まで上げます。最高位置まで上がったところで、さらに「ハンドル」を５～６回上下させます。

⑤「油圧ジャッキ」の空気抜きをします。

「リリースバルブ」を緩め、取っ手を持ち、「移動板」を最低位置まで押し下げます。
続いて油圧ジャッキに取り付けた「空気抜き栓」を指で押して内部の空気を抜きます。
（指で空気抜き栓を押すことで給油口との間に隙間ができ、内部の空気が外に逃げます）

再度「空気抜き栓」を指で外して、油圧オイルの量を確認後、「空気抜き栓」を取り付けます。
もし、このときオイル量が不足しているときは、「リリースバルブ」を締めてから、手順③に従ってオイルを補充後、「空気抜き栓」をもと通り取り付けます。

作業後、油圧ジャッキの作動を確認してください。

困ったとき

＜トラブルの原因と対処＞

ご使用中、何らかのトラブルが発生した場合は、故障と判断する前に次の項目をチェックしてください。それでも復帰しないときは、販売店、または修理窓口へ連絡してください。

トラブル	原　　因	対処方法
加圧できない	リリースバルブを締めていない	リリースバルブを確実に締める
	油圧ジャッキの油圧オイルが不足している	油圧オイルの補充を行うか、販売店または修理窓口へ作業を依頼する
	油圧ジャッキが故障している	販売店、または修理窓口へ連絡してください
均一な加圧ができない	プレス面間隔が平行でない／プレス面が水平でない	調整ネジ※で調整するか、販売店または修理窓口へ依頼する
	プレス面の凹み、キズ、汚れがある	プレス面の研磨、汚れの除去等を行う 凹み、キズ、汚れが顕著な場合は販売店または修理窓口へ依頼してプレス面を交換する
圧力が保持できない	本製品のジャッキは、油圧方式のため長時間の圧力保持ができません	手動で加圧し続ける
デジタル圧力計が表示されない	デジタル圧力計の電池が切れている	別冊「デジタル圧力計取扱説明書」を参照して、新しい電池と交換してください

※調整ネジでの調整は左右どちらかに合わせて、左右の差を微調整してください。調整ネジの片方だけを極端に回しすぎないようご注意ください（故障の原因になります）。

製品仕様と保証について

＜製品仕様＞

品　　番	1-313-02
型　　番	Ｊ－１５Ｋ
加圧面寸法	幅 200mm x 奥行 150mm
ストローク幅	0 ～ 150mm
最大開口高さ	192mm
加圧※(kN)	最大 147.1(15t)
圧力計	デジタル表示　ピークホールド機能付き
外寸法 （幅 x 奥行 x 高さ mm）	410 x 394 x 560
重　　量	約 57kg
付属品	「２．付属品の確認 (7 ページ)」を参照願います。

※　長時間の圧力保持はできません。また、加圧は最大値の５０%以上でのご使用を推奨します。

製品の仕様は、改良・改善のために予告なく変更する場合があります。
あらかじめご了承願います。

＜廃棄方法＞

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や各地域の市町村が定める方法に従って廃棄してください。

＜製品保証＞

保 証 書

本製品は厳正な検査を経て出荷されておりますが、万一保証期間内に右記保証規定 (1) に基づく正常な使用状態での故障の節は右記保証規定により修理いたします。

品　　名	ハイプレッシャージャッキ
型　　式	Ｊ−１５Ｋ
機　　番	
保 証 期 間	お買い上げ日より１年間
お買い上げ日	年　　月　　日
お 客 様	様
ご 住 所	TEL :
取り扱い店名	担当者印
住　　所	TEL :

アズワン株式会社

保証規定

(1) 弊社商品を、当該商品の取扱説明書所定の使用方法及び使用条件、あるいは、当該商品の仕様または使用目的から導かれる通常の使用方法及び使用条件の下で使用され故障が生じた場合、お買い上げの日より一年間無償修理いたします。

(2) 次の場合、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
- 誤使用、不当な修理・改造による故障。
- 本品納入後の移動や輸送あるいは落下等による故障。
- 火災、天災、異常電圧、公害、塩害等外部要因による故障。
- 接続している他の機器が原因による故障。
- 車両・船舶等での使用による故障。
- 消耗部品、付属部品の交換。
- 本保証書の字句を訂正した場合、購入年月日・購入店の記入がない場合、及び保証書の提示がない場合。

(3) ここで言う保証とは、納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害は、ご容赦頂きます。

(4) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

◎商品についてのお問い合わせは

カスタマー相談センター
TEL 0120 - 700 - 875

スマートフォンから

問い合わせ専用 URL　https://help.as-1.co.jp/q

受付時間 : 午前９時～１２時、午後１時～５時３０分
土・日・祝日、および弊社休業日はご利用できません。

◎修理についてのお問い合わせは

修 理 窓 口
TEL 0120 - 788 - 535

スマートフォンから

問い合わせ専用 URL　https://www.as-1.co.jp/faq/support/
(E-mail) repair@so.as-1.co.jp

受付時間 : 午前９時～１２時、午後１時～５時３０分
土・日・祝日、および弊社休業日はご利用できません。

製品に関する最新の情報を弊社ホームページでご案内しています。

次の代表型番のＱＲコードからアクセスしてください。

（Ｊ−１５Ｋ）

ＱＲコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

AS ONE アズワン株式会社

2023 年 7 月　第 3 版
Made in Japan